

数値化の工夫

ー情報をコンピュータに入力するにはー

1 ねらい

文字，数値などの情報をコンピュータに入力，処理しやすくする表現方法について，基本的な考え方を理解する。

2 内容及び教材

(1) 指導内容

情報 I 情報通信ネットワークとデータの活用（データの収集，整理，分析）

(2) 使用教材（配付資料等）

ア [授業プリント](#)

3 指導の流れ

(1) 基本的な指導の流れ

時 限	学習内容・学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none">○実習の目的の把握 ○アンケート用紙の作成<ul style="list-style-type: none">・アンケート問題，回答の選択肢などを考える。・回答形式を工夫する。 ・アンケート用紙を作成し，提出する・結果を入力，集計するための表を表計算ソフトウェアで準備する	<ul style="list-style-type: none">・コンピュータへ結果を入力することを考慮し，アンケートへの回答形式を工夫するように指示する。 （例）選択肢に番号をつける，選択肢に○をつける，2進数を活用する等 ・次回の授業で，アンケート結果を入力できるように，表計算ソフトウェアで表の作成を済ませておくように指示する。
2	<ul style="list-style-type: none">○アンケート結果の確認，訂正 ○アンケート結果の入力，処理<ul style="list-style-type: none">・アンケート結果を入力する。・結果を処理し，グラフ等にまとめ	<ul style="list-style-type: none">・アンケート結果を誤入力しないように注意する。

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果とともにアンケート用紙，回答形式についても自己評価した結果を提出する。 <p>○授業プリントを提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入力を通じてアンケートの回答形式と入力作業の効率について考えるよう促す。
--	---	--

(2) 発展課題

郵便番号，出席番号，バーコード，本のISBNコードなど，身近な題材から情報の表し方の工夫について考えさせる。

4 評価の例

評価の例として，次のようなものが考えられる。

時 限	学習内容・学習活動	評価規準	評価方法・評価の観点
1	○アンケート用紙の作成	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータへの入力を考慮し，アンケート問題や回答の選択肢などを考えている。 誤入力を確認する手段の工夫など，データの信ぴょう性に重きをおいた処理を行うことができる技能を身に付けている。 	<p>行動観察</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>実習課題</p> <p>[知識・技能]</p>
2	○アンケート結果の入力，処理	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答形式と入力作業の効率について考え，効率よく集計する手段を工夫している。 グラフや表を使って，アンケートの結果を分かりやすくまとめている。 	<p>実習課題</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>実習課題</p> <p>[思考・判断・表現]</p>